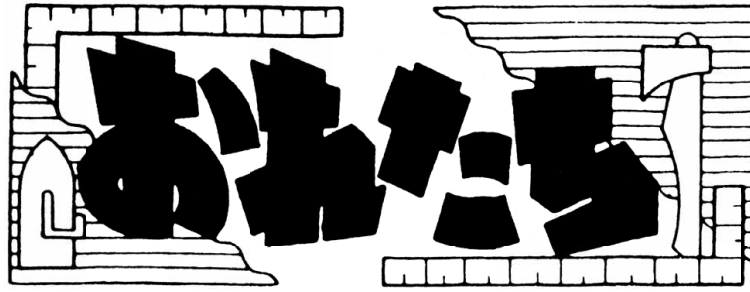


無料法律相談日の案内

1月17日(金)14時~16時

希望者は前日までに予約を

12月初組合員数 = 2009人 (-10人)



発行所
東京土建一般労働組合荒川支部
東京都荒川区荒川6-3-1
TEL(3892)9131 FAX(3892)9381
発行者・津田宗久 / 編集長・薄井章
http://www.doken-arakawa.org/

予算要求集会

建設国保補助金 賃金単価引き上げ要求

新宿中央公園に結集し都へ請願

この間、現場の第一線で働く建設労働者・職人の賃金引き上げは、いまだ一部にとどまっています。建設産業における低賃金・低単価の状況は、建設技能労働者の離職、若年入職者不足を生み出しており、建設産業そのものの将来が危ぶまれる事態となっています。また五輪関連施設建設工事では、新国立競技場で地盤整備工事に従事していた現場監督補佐の過労自殺などが問題となりました。発注者等へ違法な労働時間の禁止が急務です。

【町屋南】薄井章記者】 全体では3371人が参加。全建総連は11月20日、賃金加し、東京土建からは77・単価引き上げ予算要求中3人が参加、荒川支部は午央決起集会を日比谷野外音 前中の建設労働者対都要求請 楽堂で開催しました。 行動に33人(書記含む)が



請願書を提出する荒川支部の組合員・竹達浩さん = 南千住分会

参加しました。

荒川支部は

請願行動へ参加

新宿中央公園に集まった都連の仲間、東京都各局・都議会派への交渉団を送り出し、請願行動の趣旨説明のあと参加者全員が小池東京都知事あての請願書を提出しました。

野外音楽堂では

主催者代表で吉田三男・全建総連委員長挨拶が行われ



会場で「団結ガンバロウ」をする参加者

れ、建設労働者の仕事と暮らしを守り、魅力ある建設産業をめざすために、賃金・単価の引き上げ、アスベスト被害の救済と根絶、建設産業における担い手確保・育成などに向けて、より一層取り組みを進めていく必要性があると訴えました。また、建設業の働き方改革を進めるため、適正工期の確保と適正水準の賃金支払いを要求し、特定技能外国人の受け入れについては、人材確保のための施策を優先し、外国人技能実習生等の適正労働・適正処遇を確保することを求めました。

11月11日の九州建設アスベスト訴訟で、一人親方救済や企業責任が認められる判決が下されたことや、台風の災害対応として長野県で木造仮設住宅の建設が行われている状況報告もされ、

「建設産業は多くの問題が山積しているが、全建総連一丸となって頑張ろう」と訴えました。集会後、参加者は東京駅方面へデモ行進を行いました。

秋の拡大月間 1月現勢を10人上回る 本部目標まであとわずか



超過達成した町屋南分会

目標を大きく超過して達成しました。つづいて、東尾久1分会と町屋北分会が目標の80%以上、東尾久2分会・日暮里1分会・日暮里2分会が目標の60%以上の到達となりました。また、ザ・レディース荒川、青年部、荒友会も、それぞれ目標を達成しました。

月間成功のために連日連夜・昼夜を問わず奮闘された、多くの組合員・家族の皆さんに心より敬意を表し、あらためて御礼申し上げます。支部(本部)目標71人に対して最終成果は58人となり、あと13人(昨年19人)を残して達成をすることができませんでした。11月現勢は2019人と9人を上回る2000人となりました。分会別では町屋南分会が

目標を達成することは重要ですが、今月間での皆さんの奮闘によって、組合員・組合内事業所・後継者世代・未加入事業所との対話は大きく前進しました。日頃からの関係づくりこそが大切です。月間のご奮闘ありがとうございました。

お知らせ

台風19号による被災者に係る

一部負担金還付の実施

詳細は3面に掲載

ひぐらし

10月の消費税に伴うサービス料金の見直しについて関係する36業種データが新聞に載っていた。「値上げした」「値上げする予定」と回答した企業は合計で全体の28.6%を占めている。15業種が全体の平均を上回った。業種別で見ると、「チケット取り次ぎ」で計75%と最も高い。次いで「温浴施設」が同72.2%、「高速バス」(同70%)、「カーシェアリング」(同66.7%)が続いていた。一方で我々の業種「住宅リフォーム」は10.9%、「結婚式場・手配」が13.3%と低水準である。値上げ幅にはばらつきが見える。値上げを実施・予定すると回答した企業290社のうち、増税分の2%をそのまま転嫁した企業は45.2%とほぼ半数を占めた。

一方で増加幅が2%未満の企業も23.4%を占めた。特に「住宅(訪問)福祉サービス」や「会員制リゾートクラブ」「レンタルカー」などでは約5割の企業が2%未満と回答しており、企業努力での吸収を模索しているようだ。また、人件費や原材料高が業績を圧迫する状況が続いている。値上げの理由としては、「人件費の上昇を転嫁」が53.1%と過半数の企業が理由に挙げている。このほか、「サービスの質向上のため」(46.9%)が続いている。(虎)

技能評価、事業所の見える化について学ぶ CCUS学習会を支部会館で開催



学習会の様子 = 近藤初雄書記次長

現在、日本全体の就業者人口が減少する中、全ての産業で担い手の確保が共通した課題となつています。建設業が将来にわたつて持続するには、担い手を確保・育成をする必要があり、若年層の入職を進めるためには他産業と比べて建設業が生涯を通じて魅力的な職業であることを目に見える形で示すことが大切で、そのためには個々の技能者が技能と経験を適正に評価され、評価に応じた適正な処遇を受けられる環境の整備が不可欠となります。

【事業所】大橋正博後継者対策部長 11月19日、荒川支部会館で後継者対策部主催の建設キャリアアップシステムについての学習会を開催しました。参加者は19人(書記含む)でした。講師は近藤初雄本部書記次長にお越し頂き学習を行いました。

学習では「なぜ登録が必要か」「技能評価、事業所の見える化とは」「組合の運動方向」等について行いました。会社の基礎情報や施工能力、コンプライアンスなどを見える化することによって仕事の確保、安定した受注へ繋がっていく。そして何よりも人材を大切に、施工能力の高い専門工事業業が適正に評価され、建設技能者の処遇改善や人材への投資が促進され、なによりも不良不適格業者の排除へ繋がる仕組み

予防接種 補助金申請忘れずに

「国保係」インフルエングが例年よりも早く全国的な流行期に入りました。うがい手洗いでしっかり予防するようにして下さい。土建国保に加入されている組合員・家族の方はインフルエングの予防接種を受けると、一律2千円の補助金が受けられます。75歳以上の方はどけん共済会から補助が受けられます。申請には必ず、領収



ゴホ

書の内容・接種済証等で、受けられた方の氏名、接種日、医療機関名が確認できる書類とインフルエング補助金申請申請書と一緒に支部に提出して下さい。



小熊賢一さん質疑する様子

大人も子どもも和気あいあい としまえん「BBQテラス」で親睦会開催

後継者

【事業所】大橋正博後継者対策部長 11月17日に後継者対策部主催のバーベキュー親睦会がとしまえんの「BBQテラス」にて行われました。当日の参加者は39人(書記含む)で、そのうち子どもの参加は12人でした。午前中は「のりものフリ

となりです。組合としても賃金改善や建設業の地位の確立に向け、産業構造を民主化するチャンスでもあると話されました。参加者からは次回も開催してほしいとの声がありました。

【町屋南川薄井章記者】11月26日、荒川支部会館にて第25回荒川区労連定期大会が開催されました。大会議長には薄井(東京土建荒川支部)と佐宗さん(都教組荒川支部)を選出しました。

第25回 荒川区労連 定期大会

東京地評の白滝副議長(元東京土建書記長)が来賓の挨拶を行いました。

佐藤区労連議長(都教組荒川支部)による運動の経過報告と次年度の運動方針提案のあと、質疑から職場での闘いが報告されました。津田委員長からは「若手後継者の育成のためには最低賃金の確保だけでなく、何としても荒川区に賃金を下支えする公契約条例を制定させることが必要。私たちが地域の建設労組と手を組み、議会会派に働きかけています。区労連のみならずとも力を合わせて頑張りついで報告しました。」と報告しました。

その後、運動の経過報告・方針案、決算及び予算案を全員の拍手にて採択されました。最後に、佐藤議長の「団結がんばろう」で閉会となりました。



大橋正博後継者対策部長から19日に行われる建設CCUS学習会の呼びかけや、五箇谷京子ザ・レディーズ荒川(主婦の会)会長から12月に行われるクリスマスパーティーへの周知を行いました。

参加者アンケートでは「また次回も参加したい」「はじめに参加したが楽しかった」などの感想が寄せられました。

【日暮里11川又好一記者】イチョウが黄色に色づく荒川公園を通り抜け、サンプール荒川集会所にて、11月22日午後6時半より行われた、荒川区労働組合評議会、第66回定期大会に出席しました。東京土建荒川支部も地域共闘として共に歴史が有る組合です。

区労評議長挨拶では、議

「パス券」を使って参加した組合員さんとその家族が園内の乗り物で自由行動をしました。園内では動物と触れ合うことができる「ふれあいペットガーデン」や西武鉄道の車両を模したミニ電車などもあり、日曜日に遊園地で親子一緒に遊ぶことができ子どもたちはとても楽しそうでした。

午後はバーベキューテラスで記念撮影をした後、食べ放題バーベキュー親睦会がはじまりました。各テーブルでは会話を楽しむ参加者の声や顔が見られました。

今後参加してみたい企画ではデイズニーや温泉企画をしてほしいという声があり、今後の参考にしていきたいと思えます。



小金井俊弥(全国一般東京労働組合フジビグループ分會)さんが、議長に立候補して、承認をうけました。その後スローガンが採択され、新議長となった小金井さんが挨拶し、「団結がんばろう」と意思統一して大会は無事に閉会となりました。

第66回 荒川区労働組合評議会 定期大会

長代行として関根一郎(荒川区職員労働組合)さんが挨拶をしました。来賓挨拶では、「66回続いている事は称賛に値する」と皆さんが話していました。争議団体の報告、一年間の経過報告、大会宣言があり、新旧役員挨拶では、今まで議長不在でしたが、長年の間、事務局次長で活躍していた

国と企業は全面解決を

一人親方の責任についても賠償認める



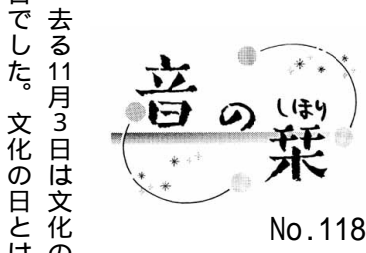
厚労省前で勝利報告を伝える様子



宣伝カーの上から訴える様子

【荒川＝磯部正三記者】11月11日アスベスト裁判の支援者約300人が厚労省前に集まり、判決行動を行いました。

午後になると判決が下り厚労省前では歓声が沸き上がり、福岡高等裁判所第5民事部は九州アスベスト訴訟（一陣）に対して国と建材メーカー側の責任を認め、国に対して総額2億2082万3304円、建材メーカー4社に対して総額1億2636万1558円の支払いを命じる原告ら勝訴の判決を言い渡しました。天皇帝国主義が芽生えることを恐れたGHQが、横槍を入れたという説もあり、また国会の手續き不備によって今日のよう「文化の日」となったという説もあります。



去る11月3日は文化の日でした。文化の日とはどのような意味がある日なのかを調べてみました。

当日は祝日であり「国民の祝日に関する法律」によって文化の日と命名されました（1948年7月20日・昭和23

年）。しかし、命名に至るまでには屈曲がありました。それは日本国憲法の公布日が1946年11月3日（昭和21年）です。問題は敗戦前の日本でのこの日は、明治天皇の誕生日「明治節」です。また戦災による焦土の煙の収まらないこの時期に、偶然か必然かは分かりませんが、憲法公布日と明治節が同日になったことです。当然のことながらまだ終戦間もない日本で、再

び天皇制帝国主義が芽生えることを恐れたGHQが、横槍を入れたという説もあり、また国会の手續き不備によって今日のよう「文化の日」となったという説もあります。祝日法第一条、「国民の祝日」とは、「自由と平和を求めてやまない日本国民が、美しい風習を育てつつ、より良き社会、より豊かな生活を築き上げるために、国民がこぞつて祝い、感謝し、また記念する日である」とある。（H）

【船橋賢一＝事務局】安倍9条改憲NO！荒川市民アクションは11月23日午後、雨が降りしきる中、「国会発議を許さない」区役所前集会を開催しました。

当初、集会後にパレードを予定していましたが、雨のため中止となりました。森本市民アクション共同代表、佐藤区労連議長、角生活と健康を守る

【西尾久＝小野澤富彦記者】11月20日、第30回ゆたかな高齢期をめざす東京のつどいが杉並公会堂で開催されました。参加者は約1000人、荒川支部からは5人が参加しました。オーブニングは社会派トランプの松平晃さんの演奏で始まりました。基調報告では実行委員会事務局長の菅谷正見さんの「高齢社会

【西尾久＝小野澤富彦記者】11月20日、第30回ゆたかな高齢期をめざす東京のつどいが杉並公会堂で開催されました。参加者は約1000人、荒川支部からは5人が参加しました。オーブニングは社会派トランプの松平晃さんの演奏で始まりました。基調報告では実行委員会事務局長の菅谷正見さんの「高齢社会

【西尾久＝小野澤富彦記者】11月20日、第30回ゆたかな高齢期をめざす東京のつどいが杉並公会堂で開催されました。参加者は約1000人、荒川支部からは5人が参加しました。オーブニングは社会派トランプの松平晃さんの演奏で始まりました。基調報告では実行委員会事務局長の菅谷正見さんの「高齢社会

【船橋賢一＝事務局】安倍9条改憲NO！荒川市民アクションは11月23日午後、雨が降りしきる中、「国会発議を許さない」区役所前集会を開催しました。

当初、集会後にパレードを予定していましたが、雨のため中止となりました。森本市民アクション共同代表、佐藤区労連議長、角生活と健康を守る

【西尾久＝小野澤富彦記者】11月20日、第30回ゆたかな高齢期をめざす東京のつどいが杉並公会堂で開催されました。参加者は約1000人、荒川支部からは5人が参加しました。オーブニングは社会派トランプの松平晃さんの演奏で始まりました。基調報告では実行委員会事務局長の菅谷正見さんの「高齢社会

【西尾久＝小野澤富彦記者】11月20日、第30回ゆたかな高齢期をめざす東京のつどいが杉並公会堂で開催されました。参加者は約1000人、荒川支部からは5人が参加しました。オーブニングは社会派トランプの松平晃さんの演奏で始まりました。基調報告では実行委員会事務局長の菅谷正見さんの「高齢社会

【西尾久＝小野澤富彦記者】11月20日、第30回ゆたかな高齢期をめざす東京のつどいが杉並公会堂で開催されました。参加者は約1000人、荒川支部からは5人が参加しました。オーブニングは社会派トランプの松平晃さんの演奏で始まりました。基調報告では実行委員会事務局長の菅谷正見さんの「高齢社会

【船橋賢一＝事務局】安倍9条改憲NO！荒川市民アクションは11月23日午後、雨が降りしきる中、「国会発議を許さない」区役所前集会を開催しました。

当初、集会後にパレードを予定していましたが、雨のため中止となりました。森本市民アクション共同代表、佐藤区労連議長、角生活と健康を守る

【西尾久＝小野澤富彦記者】11月20日、第30回ゆたかな高齢期をめざす東京のつどいが杉並公会堂で開催されました。参加者は約1000人、荒川支部からは5人が参加しました。オーブニングは社会派トランプの松平晃さんの演奏で始まりました。基調報告では実行委員会事務局長の菅谷正見さんの「高齢社会

【西尾久＝小野澤富彦記者】11月20日、第30回ゆたかな高齢期をめざす東京のつどいが杉並公会堂で開催されました。参加者は約1000人、荒川支部からは5人が参加しました。オーブニングは社会派トランプの松平晃さんの演奏で始まりました。基調報告では実行委員会事務局長の菅谷正見さんの「高齢社会

【西尾久＝小野澤富彦記者】11月20日、第30回ゆたかな高齢期をめざす東京のつどいが杉並公会堂で開催されました。参加者は約1000人、荒川支部からは5人が参加しました。オーブニングは社会派トランプの松平晃さんの演奏で始まりました。基調報告では実行委員会事務局長の菅谷正見さんの「高齢社会

お知らせ

台風19号による被災者に係る一部負担金免除の実施

令和元年台風19号で被災された方に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈りいたします。東京土建国保組合では、被災者支援の立場から一部負担金の免除を実施することとし、厚労省へ回答しました。

土建国保に加入している被災者が医療機関等を受診する際に、被災した旨を申告すると、一部負担金が免除されます。取り扱い期間は2020年1月末までの診療、調剤及び訪問介護（入院時の食事療養費及び生活療養に係る標準負担額は免除対象外）となります。

台風19号による被災者に係る一部負担金還付の実施

11月28日に国保理事会により確認され、東京土建国保被保険者で被災された方が医療機関等を受診した際に、既に一部負担金を支払った場合は、一部負担金等還付申請書に、被災状況に応じた根拠書類及び一部負担金の額が確認できる書類を添付して国保組合に提出して下さい。詳しくは支部までお問合せ下さい。

【取扱期間】2019年10月12日から2020年1月31日までの診療、調剤及び訪問介護 入院時の食事療養費及び生活療養に係る標準負担額は免除対象外です。

通信員総会

ヘイト嫌韓問題について講演
コンクール受賞36紙が決まる

【町屋南川薄井章記者】11月17日(日)、けんせつプラザ東京にて2019年度通信員総会が開催されました。参加者は全体で115人、荒川支部からは3人が参加しました。



講演中の様子 石橋学さん

父すらも偏見に敵意を重ねていたそうです。このまなざしこそ、この社会に受け継がれてきた朝鮮観だと感じていると話します。1994年に神奈川新聞社に入社し、2年目に川崎市の担当に配属され「ヘイト問題」に携わり、ヘイトスピーチを根絶するために現在は記事を書いています。川崎市は11月15日、道路や公園など公共の場で外国人へのヘイトスピーチ(憎悪表現)を繰り返した者に、全国初の刑事罰を科す「差別

2019年度分会新聞コンクール

特選紙

Table with 2 columns listing award-winning newspapers from various branches like 足立支部花畑分会, 荒川支部日暮里第1分会, etc.

入選紙投票結果

- 板橋・蓮根「ひまわり」
豊島・南池袋「けやき」
豊島・さくら「さくら」
北・十中央「じゅうおう」
練馬・桜台「みちくさ」
練馬・石神井「石神二コイス」
杉並・井荻「井荻タイムズ」
西多摩・青梅第6「よんろく」
青年部
杉並「雑句場覧」
小平東村山「MENS LINE」
主婦の会
荒川「主婦の会あらかわ」
練馬・石神井台「ひだまり」
中野「かなめ」
八王子「主婦のちえ」
シニア友の会
練馬「シニア友の会会報」
西多摩「いぶし銀」
専門部
なし

ひとくち映画情報

『フォードVS フェラーリ』

ジェームズ・マンゴールド監督



©2019 Twentieth Century Fox Film Corporation

世界有数の自動車レース、ル・マン24時間耐久レースで絶対王者フェラーリチームに挑んだ男たちの闘いと友情を描いた実録作品。
ル・マンでの勝利を目指すフォード社のエンジニア、シエルビー(マツト・デイモン)にはライバルのフェラーリ社を超える自動車の開発と優秀なレーサーが必要でした。英国人レーサーのマイルズ(クリスチャン・

2020年子年 荒川支部 新春の集い
【開催日時】1月19日(日)18時~
【場所】ホテルラングウッド2F飛翔 荒川区東日暮里5-50-5
参加申し込みは分会へお願いします

仲間の横顔



小野澤 富彦さん(西尾久分会) 53

今回は長年教宣部を担当していましたが、未だ仲間の横顔に出していない為、自己紹介も兼ねて自分の人生を取材してみました。

後、大東亜戦争に突入したが、18年頃から戦況が悪化し19年の6月に学童疎開が始まり小学4、6年生は集団疎開しました。
私は千葉県の親戚のところへ疎開しました。疎開先の旦那さんも兵隊として戦地へ招集され、奥さんと幼い3歳の女の子と私だけとなり生活はとても大変でした。農業を女手一つで営み、小さな幼子の子守りと厳しい生活が今でも心に刻まれています。

昭和20年8月15日、天皇陛下の玉音放送で戦争が終わったことを知らされました。その夜から街に電燈の明かりがつき、とてもほっとしたことを今でも忘れられません。
25歳の時に鳶工として働き始め、勤め先の頭の姐さんのお世話になり36歳のときに結婚しました。
西尾久分会の阿部邦男さんからの紹介で、組合に加入して33年になりました。
秋口になると一緒に八ヶ岳釣りに行きました。大潮の日の満潮時によく釣れますが、干潮時にはアサリを取って楽しみました。
現在は、組合の役に立てるように教宣部員として頑張っています。

訃報



鈴木 敏さん
11月24日逝去 享年76歳
(荒川・大工)

鈴木敏さんは、1983年から1986年に渡り、執行委員として長きにわたる支部の発展に貢献されました。
またリフォームセンターの運営委員としても大きく貢献されました。
鈴木さんを知る分会の仲間には「物静かで、真面目で優しく、なによりも家族を大切にされる人」と生前を振り返りました。